



ふくやま 市議会だより



No.51

5月臨時会 6月定例会 2014年(平成26年)8月1日

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会

〒720-8501 福山市東桜町3番5号
TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●
プール遊びをする園児たち
「竹尋誠和保育園（神辺町）」

市議会の新体制決まる.....	2～3
6月定例会の概要	4
一般質問	5～10
委員会の活動	10
政務活動費の執行状況	11
議会報告会の開催	12

い 体 制 決 ま る



小川眞和議長(左)と稻葉誠一郎副議長

このたび、5月の臨時会において、第46代議長、第62代副議長に就任しました。

福山市議会では、議会の活性化と機能の強化を図るため、昨年から市内各所で議会報告会を開催しています。この議会報告会において多くの市民と意見交換を図り、議会の役割や活動内容などを皆さまにお伝えしたいと思っています。

皆さまからのご意見やご要望を参考にしながら、今後も市民に開かれた議会として市民の声を市政に反映させるために、議会報告会や市議会だよりなどを通じて議会活動に関する情報を積極的に提供してまいりますので、ご理解とご支援をお願い申しあげます。

5月臨時会開催

5月14・15日、臨時会を開き、議長、副議長の辞職に伴う後任の選挙を行い、議長に小川眞和議員、副議長に稻葉誠一郎議員を選出しました。

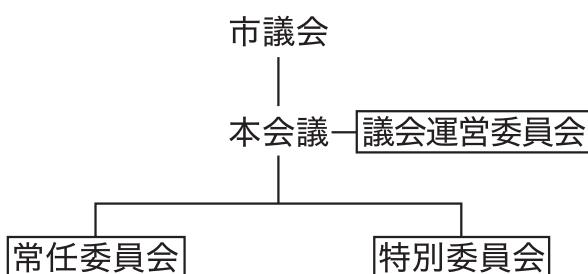
また、議会選出の監査委員の選任同意や、任期満了となる常任委員会と議会運営委員会委員の選任、特別委員会委員の一部交代などを行い、議会内の新しい体制が決まりました。

就任のあいさつ

このたび、5月の臨時会において、第46代議長、第62代副議長に就任しました。

福山市議会では、議会の活性化と機能の強化を図るため、昨年から市内各所で議会報告会を開催しています。この議会報告会において多くの市民と意見交換を図り、議会の役割や活動内容などを皆さまにお伝えしたいと思っています。

市議会の構成



○本会議と委員会

本会議は、議員全員が議場に集まって行う会議で、議会の最終的な意思を決定します。

議案などは本会議で直ちに決めることもありますが、全員で一度に審査するよりも、いくつかの部門に分けて審査した方が専門的効率よく審査できるため、委員会が設けられています。

稲葉誠一郎副議長

平成8年から現在までの間
監査委員、民生福祉常任委員会委員長、競馬事業特別委員会委員長などを歴任、南手町二丁目、56歳

神原孝巳委員

平成12年から現在までの間
民生福祉常任委員会委員長、行政改革特別委員会委員長などを歴任、坪生町一丁目、74歳

小川眞和議長

昭和59年から現在までの間
議長、監査委員、建設開発常任委員会委員長、合併調査特別委員会委員長などを歴任、駅家町、71歳

須藤猛委員

平成8年から現在までの間
副議長、監査委員、文教経済常任委員会委員長、行財政改革特別委員会委員長などを歴任、日吉台一丁目、64歳

■議長・副議長の略歴

■議会選出監査委員の略歴

市議会の新し

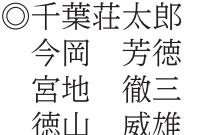
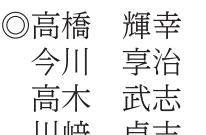
新しい委員会の構成

常任委員会などの委員が次のように決まりました。

○委員長
○副委員長

常任委員会	総務委員会 (10人)		○今岡 芳徳 岡崎 正淳 法木 昭一 黒瀬 隆志	○和田 芳明 熊谷 寿人 稻葉誠一郎	大塚 忠司 高木 武志 早川 佳行
	民生福祉委員会 (10人)		○西本 章 生田 政代 高田 健司 小林 茂裕	○連石 武則 今川 享治 五阿彌寛之	河村 晃子 藤原 平 塚本 裕三
	文教経済委員会 (10人)		○中安加代子 門田 雅彦 神原 孝巳 小川 真和	○木村 秀樹 土屋 知紀 須藤 猛	藤田 仁志 池上 文夫 徳山 威雄
	建設水道委員会 (10人)		○榎原 則男 高橋 輝幸 瀬良 和彦 村井 明美	○田中 光洋 千葉莊太郎 佐藤 和也	大田 祐介 宮地 徹三 川崎 卓志
	議会運営委員会 (11人)				

議会運営委員会 (11人)	○神原 孝巳 今岡 芳徳 宮地 徹三	○高木 武志 高橋 輝幸 法木 昭一	藤原 平 高田 健司 佐藤 和也	榎原 則男 塚本 裕三
------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------	----------------

特別委員会	行政改革特別委員会 (14人)		○塚本 裕三 田中 光洋 西本 章 小林 茂裕	○藤原 平 和田 芳明 神原 孝巳 小川 真和	木村 秀樹 榎原 則男 早川 佳行	生田 政代 土屋 知紀 須藤 猛
	都市整備特別委員会 (13人)		○千葉莊太郎 今岡 芳徳 宮地 徹三 徳山 威雄	○大塚 忠司 高田 健司 法木 昭一	河村 晃子 熊谷 寿人 佐藤 和也	門田 雅彦 池上 文夫 村井 明美
	競馬場跡地利活用検討特別委員会 (13人)		○高橋 輝幸 今川 享治 高木 武志 川崎 卓志	○大田 祐介 岡崎 正淳 瀬良 和彦	連石 武則 中安加代子 稻葉誠一郎	藤田 仁志 五阿彌寛之 黒瀬 隆志

平成26年6月定例会



平成26年第3回定例会（6月9日～24日／会期16日間）の概要は次のとおりです。

9日 25年度一般会計繰越明許費など7件の予算に関する報告、福山市土地開発公社などの事業経営状況の報告の後、市長が市政の状況と5議案の提案理由を説明

請願2件を、紹介議員の説明の後、総務委員会に付託

16日から19日 議案や市政全般について20人の議員が一般質問

19日質問終了後 市長が4件の追加議案の提案理由を説明

9議案を所管の常任委員会に付託

20日 3常任委員会でそれぞれ議案等を審査

24日 議案等を審査した3常任委員会の委員長から審査結果の報告があり、それ採決し、9議案を原案どおり可決、請願2件は不採択

教育委員会の委員の任命の同意についてなど5件の人事案件に同意

議員提出の意見書案2件を可決

この定例会で決まったこと（一部をお知らせします）

○次の学校で校舎の改修工事に着手します。

市立手城小学校南棟校舎、北棟校舎の耐震改修工事

市立神辺中学校北棟校舎、管理棟の耐震改修工事

平成26年第3回定例会 議案の審議結果一覧

賛否が分かれた案件	水曜会	公明党	誠勇会	市連 民合	日本 共産党	新政 クラブ	無所属 ※1※2	採 結	○は賛成、×は反対	
									付 託 委 員 会	
■税条例及び税条例及び国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	可	決
■国民健康保険条例の一部改正 ^{※3}	○	○	○	○	○	×	○	○	可	決
■公の施設（ものづくり交流館）の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	×	○	○	可	決
■幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	×	○	○	可	決
■児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	可	決
■家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	×	○	○	可	決
■特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	×	○	○	可	決
■国民健康保険税の引き上げをやめ、引き下げるることを求める要望	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択	総務
■所得税法第56条の廃止を求める要望	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択	総務
■教育委員会の委員の任命の同意	○	○	○	○	○	×	○	○	同 意	-
■教育委員会の委員の任命の同意	○	○	○	○	○	×	○	○	同 意	-
■公平委員会の委員の選任の同意	○	○	○	○	○	×	○	○	同 意	-
■固定資産評価員の選任の同意	○	○	○	○	○	×	○	○	同 意	-
■人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めること	○	○	○	○	○	×	○	○	同 意	-

全員が賛成した案件（可決）

議案名の後の（ ）には付託委員会名を表記しています。

■市立手城小学校南棟校舎他耐震改修工事請負契約締結（文教経済）

■市立神辺中学校北棟校舎他耐震改修工事請負契約締結（文教経済）

■少人数学級の推進などの定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書*

■地方財政の充実強化を求める意見書*

*1：岡崎正淳議員 *2：藤田仁志議員 *3：修正案が提出されましたが、否決しました。

賛否は、本会議後に会派等に確認したもので。議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

*意見書の内容は福山市のホームページで見ることができます。[福山市のホームページ](#) → [福山市議会](#) → [決議・意見書](#)

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、20人の議員が一般質問（全員が一問一答方式を選択）を行い、活発な議論を開きました。

その概要は、次のとおりです。

会派名など	質問者数
水曜会	6人
公明党	4人
誠勇会	3人
市民連合	2人
日本共産党	2人
新政クラブ	1人
無所属	2人

*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。

競馬場跡地利活用基本構想・
基本計画は



の浸水被害などを想定し、一時的に避難できる施設としての機能を持たせるなど、地盤のかさ上げも含めた防災の視点からの検討もう。

①基本構想に防災対策が盛り込まれたが、地盤のかさ上げなどの対応が必要ではないか。
②総合体育館の規模や機能は。
③既存施設の解体撤去の見通しは。

①地震に伴う津波や芦田川



中心市街地活性化の取り組みは

周辺地区中心市街地は「人・こと・もの」がつながり、市民が共感し誇りに思う福山らしい「新たな都市の魅力を創造する拠点」となることをめざしている。

②多くの市民から認知され、共感を得ることのできる市民活動に昇華していくため、地域との連携に向け活動拠点の設置の支援をしていく必要があると考える。

③準備組合では保留床の処分先を含め具体的なスケジュールの調整を図っていると伺っており、引き続き、状況に応じた支援を行う。

答

問

①人口減少化問題への対策は。
②「地方中枢拠点都市」へ応募した経緯と本市の役割は。

*人口減少社会への対策と
地方中枢拠点都市の役割は



早川 佳行
水曜会

①これまで少子化対策として有効な施策展開を図ってきたことにより、本市の合計特殊出生率

は政令市、中核市、特例市の中でも最も高い数値となっているが、今後、少子高齢化の加速が予測される中、地域、企業、行政が一体となつて、出産・子育てがしやすい環境づくりに、より一層取り組む必要があると考える。

②人口減少に伴い、単独の市町で全ての行政サービスを提供することが困難になる事態に備え、本市が地域の核となり、地域の活性化に資するため応募した。広域連携を通じ、将来にわたり発展し続ける圏域づくりにつなげていく。

答

問

①中心市街地活性化の取り組み方針は。
②フクノワ活動の今後の展開は。
③伏見町地区市街地再開発事業の今後の見通しは。

①福山が「いかに選ばれる地域になるか」を念頭に、福山駅

* 6月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → 録画放送はこちらから

→ 開催年：選択してください ▼ → 平成26年 → 平成26年第3回（6月）定例会

問 市内各地にかんがいを目的としたため池が多数存在する。中でも貯水量の多いため池は県の管轄となっており、昨年度、県は耐震診断を行うため、各地の池でボーリング調査を行った。当初、昨年度末までに耐震診断結果がまとまるとのことだった。

ため池の耐震性は

答 市内各地にかんがいを目的としたため池が多数存在する。

が、いまだに公表できていない理由は。

答

平成25年度に県において、

規模、影響度の大きい市内のため

池26カ所について実施されたが、その調査結果について、現在、精

査しているところであり、診断結果がまとまり次第公表する方針と聞いている。



木村
秀樹

水曜会

答

市が管理する雨水排水のポンプ場は26施設、農業用の排水機場は5施設。その他、土地改良区が所有・管理する排水機場が10施

問 浸水対策として、雨水排水などの排水施設が整備されているが、現状と課題は。

答 市が管理する雨水排水のポンプ場は26施設、農業用の排水機場は5施設。その他、土地改良区が所有・管理する排水機場が10施

排水施設の現状と課題は



今岡
芳徳

水曜会



中央ポンプ場（東川口町）

設あり、点検結果に基づく補修を随時行い、施設の機能を確保している。

農業用の排水機場は現在、対象地域の市街化が進み、農地と宅地が混在する地域の浸水対策が主な役割で、これら施設の老朽化対策は今日の市街化の進展状況を勘案する中で、関係機関や水利関係者と連携し検討する。

養育支援を必要とする家族支援は



連石
武則

水曜会

問

本年5月、男児の白骨遺体が死後7年たつて発見された厚木市の事件をはじめ、過去にも育児放棄など全国で多くの痛ましい児童虐待の報告がある。乳幼児健診未受診などの家庭は、虐待の発生リスクが高く、

問

本年5月、男児の白骨遺体が死後7年たつて発見された厚木市の事件をはじめ、過去にも育児放棄など全国で多くの痛ましい児童虐待の報告がある。乳幼児健診未受診などの家庭は、虐待の発生リスクが高く、

答 1歳6ヶ月児健康診査は93.8%、3歳児健康診査は92.6%で、未受診者には家庭訪問や電話等で受診勧奨に努めている。

支援の検討が必要と考えられる。本市の乳幼児健康診査等の状況と対策は。



生田
政代

公明党

子育て支援について

問 ①本市の支援事業の特徴と今後の課題は。

②県の事業との連携は。

答 ①これまで、充実した就学前施設を活用した多様な保育サービスにより、待機児童ゼロを継続しながら、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに

取り組んでいます。一方、少子化や核家族などの進展に伴い、子育ての孤立化や子育てに不安や負担を感じる親が増加しており、家庭や地域、企業、行政が一体となって、出産・子育てがしやすい環境づくりに、より一層取り組むことが重要と考える。

②関係課が広報・啓発を通じた連携を図っており、県の事業と呼応することによるメリットも生かしながら、子育て支援などの充実に取り組む。

*フクノワ（P.5）：中心市街地の活性化に向けて、「福山の未来づくりワークショップ」から生まれた、市民によるまちなか活動の総称。

地域包括ケアシステムについて



問 ① 地域包括支援センターとの連携は。

② 高屋市営住宅における支援体制は。

③ 認知症高齢者対策は。

高齢者対策について



答 ① 病院を退院する高齢者などの支援のため、地域包括支援セ



今後も、家族介護者の介護負担の軽減に向け、取り組む。

答 ① 病院を退院する高齢者などの支援のため、地域包括支援セ

① 病院を退院する高齢者などの支援のため、地域包括支援セ

① 病院を退院する高齢者などの支援のため、地域包括支援セ

② 高屋市営住宅における支援体制は。

② 高屋市営住宅における支援体制は。

③ 認知症高齢者対策は。

③ 認知症高齢者対策は。

④ 医師会や認知症サポート医などと連携し、本人や家族を対象とした相談会や介護技術の講習会を地域において開催した。

いざれも、ケアシステムの構築に必要な取り組みで、次期高齢者福祉計画に盛り込むこととしている。

事業所税について



問 ① 産業振興の取り組みと企業立地の促進は。

② 本市が応募した国の「新たな広域連携モデル構築事業」とは。

答 ① 中小企業に対して、新技術・新商品開発への支援や販路開拓支援、福山ブランド品育成支援

産業振興と雇用活性化について



企業立地の促進は、県等との連携による情報収集、首都圏等で開催の企業立地セミナーへの参加、本市の魅力の情報発信や優遇制度の周知などに取り組んでおり、今後も、より効果的なPR等に努める。

② 本市においても人口減少の加速が予測される中、地方中枢拠点都市を核とし、地域の活性化などを図る新たな構想が国から示され応募した。産学金官民が一体となり経済成長をめざす。

公共施設の再構築は



問 ① 産業振興の取り組みと企業立地の促進は。

② 本市が応募した国の「新たな広域連携モデル構築事業」とは。

答 ① 中小企業に対して、新技術・新商品開発への支援や販路開拓支援、福山ブランド品育成支援

企業立地の促進は、県等との連携による情報収集、首都圏等で開催の企業立地セミナーへの参加、本市の魅力の情報発信や優遇制度の周知などに取り組んできた。今後も産業振興施策の充実と支援に努める。

これまで、在宅で家族を介護する人たちを支援するため、情報交換を目的とした「家族介護者交流事業」や認知症の家族介護者などを対象とした「もの忘れ相談」「介護技術講習会」を実施し、負

問 ① 国が策定を求める「公共施設等総合管理計画」と、本市の「公共交通施設サービス再構築基本方針」との整合性は。

答 ① 国が示す策定指針（計画期間や対象施設、取り組み体制など）と整合性を図る中で、本市の基本方針や長寿命化計画などを踏まえ

企業立地の促進は、県等との連携による情報収集、首都圏等で開催の企業立地セミナーへの参加、本市の魅力の情報発信や優遇制度の周知などに取り組んできた。今後も産業振興施策の充実と支援に努める。

※ケアラー：高齢者や障がい者、病気の家族の介護や看護などを無償で行っている人のこと。
※地方中枢拠点都市（P.5, P.7）：人口減少・少子高齢社会においても、人々の暮らしを支え、経済をけん引していくため、自治体において広域連携に取り組み、その中枢となる都市のこと。全国では61市が対象要件を満たしている。

問 若い世代の暮らしや子育てを支援し、安心して子どもを産み育てることができる環境とするために、次の施策を求める。

①雇用の安定化を図ること。

②若年者の家賃軽減を図ること。

③乳幼児等医療費助成制度を入院、通院とともに中学校卒業まで



村井 明美
日本共産党

少子化時代の子育て支援を

問 小中学校の普通教室に100%フーラーを設置した大崎上島町では、「夏は教室が快適」等の喜びの声が寄せられている。本市の設置に必要な経費を示し全小中学校への設置を求める。

答 初期投資が約37億円程度と予想しており、さらに電気料金等

土屋 知紀
日本共産党

答 ①若年者や女性にとって働きやすい環境整備をすることが必要と考えており、引き続き、ハローワーク等関係機関や関係団体と連携し、女性が働きやすい環境の整備に努める。

②市営住宅で子育て世帯向けの募集枠を設け、若年ファミリー世帯への支援を行っている。

③県制度を踏まえ独自に助成対象年齢を拡大して実施しており、現段階でさらなる拡大は考えていなが、全国市長会を通じ国の制度として創設するよう要望している。

答 ①若年者や女性にとって働きやすい環境整備をすることが必要と考えており、引き続き、ハローワーク等関係機関や関係団体と連携し、女性が働きやすい環境の整備に努める。

②市営住宅で子育て世帯向けの募集枠を設け、若年ファミリー世帯への支援を行っている。

③県制度を踏まえ独自に助成対象年齢を拡大して実施しており、現段階でさらなる拡大は考えていなが、全国市長会を通じ国の制度として創設するよう要望している。

答 任命権者の県教育委員会に対し、引き続き、より多くの本務者を要望していく。

答 任命権者の県教育委員会に對し、引き続き、より多くの本務者を要望していく。

問 ①こう着状態が続いていることには、非常に残念な思いでいる。

②市営競馬跡地に建設予定の総合体育館は機能充実を

③重伝建選定への取り組みは。

④今後の県と地元住民との協議における本市の役割は。

答 ①県が埋め立て架橋計画を撤回して2年だが今の思いは。②県の調査への本市の関わりは。③重伝建選定への取り組みは。④今後の県と地元住民との協議における本市の役割は。

須藤 猛
新政クラブ

鞆のまちづくりについて

問 ①こう着状態が続いていることには、非常に残念な思いでいる。

②市営競馬跡地に建設予定の総合体育館は機能充実を

③重伝建選定への取り組みは。

④今後の県と地元住民との協議における本市の役割は。

④知事が地元住民の意向をしっかりとくみ取るという姿勢であれば調整役を果たしていくと考える。

④知事が地元住民の意向をしっかりとくみ取るという姿勢であれば調整役を果たしていくと考える。

*重伝建（重要伝統的建造物群保存地区）：歴史的な集落や古い町並みを残そうと、住民と地元自治体が国・県の支援を受けながら保存に取り組んでいる地区。各自治体が調査をして国審査を受け、選定されれば修理や保存にかかる費用の補助等が受けられる。

9月定例会の開催予定	
9／2（火）	本会議（市長提案説明など）
5（金）	議会運営委員会
8（月）	本会議（一般質問）
9（火）	本会議（一般質問）
10（水）	本会議（一般質問）
11（木）	本会議（一般質問）
12（金）	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)
16（火）	予算特別委員会
17（水）	予算特別委員会
19（金）	議会運営委員会 本会議（委員長報告など）
22（月）	企業会計決算特別委員会
24（水）	企業会計決算特別委員会
25（木）	企業会計決算特別委員会

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。
(ただし、9月19日の本会議は午後1時からです。)
○詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。
☎084-928-1136

問 **答**

①公立幼稚園の2次診断はどうなっているのか。
②私立学校の校舎の耐震化の状況は。

学校施設等の耐震化工事について



次診断については、小学校舎との併用である西幼稚園を除き実施していない。
②私立学校の所管は県のため、詳細についての把握はしていない。



委員会の活動（4月～6月）

4月から6月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

◆常任委員会

開催日	調査・審査項目	開催日	調査・審査項目
総務	4/30 • 市立大学2014年度入学者の概要 など	文教	5/30 • 新事業創出支援事業 • 福山・鞆の浦応援特別大使の取組 • 希少野生動植物等生息状況市民調査 • 図書館雑誌スポンサー制度の実施 など
	5/30 • (仮称) 神辺地域交流センターの整備 • 公共施設への防犯カメラの設置 • 交通安全モデル事業 など		6/18 • 子ども・子育て支援新制度に伴う関係条例の制定
	6/20 • 付託された議案（2件）と請願（2件）の審査 • 鞆支所・鞆公民館の整備 など		6/20 • 付託された議案（3件）の審査 など
民生福祉	5/1 • 府中市民病院に対する診療支援 など	建設水道	4/18 • 水呑三新田地区画整理事業
	5/30 • 臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の支給 • 「次世代育成支援対策推進行動計画」の実施状況 など		5/30 • レンタサイクル実証実験の結果 • ばら公園リニューアル整備事業及び新たな名所の公園整備 • 水道事業中長期ビジョン実施計画（後期） • 営業関連業務包括委託（上下水道局）など
	6/18 • 子ども・子育て支援新制度に伴う関係条例の制定等		6/20 • 所管事務調査の決定
	6/20 • 付託された議案（4件）の審査		

◆特別委員会

開催日	調査項目
競馬場跡地利活用検討 5/13	• 市営競馬場跡地利活用基本構想 • 市営競馬場跡地利活用基本計画 など

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。
なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。

政務活動費の執行状況をお知らせします

政務活動費は、地方自治法と条例に基づき、市政の調査研究その他の活動に充てるため、議会の会派に交付されているものです。

2013年度（平成25年度）に各会派に交付された政務活動費の執行状況は、次のとおりです。

政務活動費について、本市では議会改革の一環として、使途の透明性を高め、各会派の活動内容をより明らかにするため、収支報告書に加えて支出書と領収書、市外視察などの報告書を公開しています。

報告書類は、福山市情報公開条例に基づく開示請求の手続きをしなくとも、議会事務局に申請すれば、誰でも閲覧できます。詳しくは、議会事務局庶務課（☎084-928-1123）までお問い合わせください。

2013年度（平成25年度）政務活動費決算内訳

(単位：円)

会派名 項目	水曜会 (14人)	公明党 (7人)	誠勇会 (6人)	市民連合 (4人)	日本共産党 市議団(4人)	新政クラブ (3人)	有隣会 (1人)	高志会 (1人)
政務活動費 交付額①	21,840,000	10,920,000	9,360,000	6,240,000	6,240,000	4,680,000	1,560,000	1,560,000
1 調査研究費	2,017,900	117,120	205,080	390,380	159,780	0	94,260	95,180
2 研修費	2,676,755	2,157,770	2,186,910	1,116,380	423,480	2,772,030	101,400	205,600
3 資料作成費	0	3,226	0	0	74,733	4,169	0	256
4 資料購入費	1,632,184	1,222,352	1,036,378	290,133	740,200	401,206	322,861	142,931
5 広報費	9,058,105	736,120	1,077,099	2,767,811	2,395,243	0	414,605	63,000
6 広聴費	0	0	0	0	56,670	0	0	0
7 要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
8 会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
9 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
10 事務所費	6,399,930	2,750,476	3,499,172	1,677,435	1,921,727	1,473,040	379,255	634,876
支出合計②	21,784,874	6,987,064	8,004,639	6,242,139	5,771,833	4,650,445	1,312,381	1,141,843
返還額(①-②)	55,126	3,932,936	1,355,361	0	468,167	29,555	247,619	418,157

— 支出項目の説明 —

1 調査研究費

会派が行う、市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費

2 研修費

会派が研修会を開催するために要する経費及び他の団体等が開催する研修会に会派として参加するために要する経費

3 資料作成費

会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費

4 資料購入費

会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

5 広報費

会派が、その活動及び市政について市民に報告するためには要する経費

6 広聴費

会派が行う、市民からの市政及び会派の活動に対する要望及び意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費

7 要請・陳情活動費

会派が要請及び陳情活動を行うために要する経費

8 会議費

会派が各種会議を開催するために要する経費及び他の団体等が開催する各種会議に会派として参加するために要する経費

9 人件費

会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費

10 事務所費

会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費

虚礼廃止にご理解を！！

政治家は、日頃からお世話になった人でもお中元やお歳暮を贈ることは禁止されています。

また、暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すことも禁止されています。

皆さまのご理解をお願いします。

議会報告会を開催!～開かれた議会をめざして

議員が議会の仕組みや活動状況などをお話しする議会報告会を市内8会場で開催します。
どの会場でも参加することができます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

月	日	曜日	時間	会 場	ブロック名	構 成 学 区 名	担当班
8	18	月	19:00 ～20:30	福山市役所本庁舎 3階大会議室	中央東	東・手城・深津・樹徳・旭・桜丘 西深津・久松台	4
	19	火	19:00 ～20:30	福山市役所本庁舎 3階大会議室	中央西	西・南・霞・川口・光・箕島・曙 多治米・新涯・川口東	1
	21	木	19:00 ～20:30	東部市民センター 大ホール	東 部	引野・蔵王・千田・御幸・大津野 坪生・春日・伊勢丘・旭丘・緑丘 長浜・野々浜・幕山・日吉台・大谷台	2
	22	金	19:00 ～20:30	西部市民センター 大会議室	西 部	神村・本郷・東村・今津・松永・柳津 金江・藤江・高西	3
	25	月	19:00 ～20:30	人権交流センター ホール	西 南	泉・津之郷・赤坂・瀬戸・熊野・水呑 高島・鞆・走島・山手・明王台	4
	26	火	19:00 ～20:30	うつみ市民交流センター 多目的ホール	南 部	横島・田島西部・田島東部・能登原 千年・常石・山南	1
	28	木	19:00 ～20:30	しんいち市民交流センター コミュニティホール (新市支所)	北 部	有磨・福相・山野・広瀬・加茂・宜山 駅家・服部・駅家東・駅家西・常金丸 網引・新市・戸手	2
	29	金	19:00 ～20:30	神辺文化会館 小ホール	神 辺	神辺・竹尋・御野・湯田・中条・道上	3

班のメンバーは次のとおりです。

(◎班長、○副班長)

班	名 前								担 当 ブロック名
1	◎小林 茂裕 門田 雅彦	○高橋 輝幸 今岡 芳徳	河村 晃子 熊谷 寿人	生田 政代 池上 文夫	田中 光洋 佐藤 和也	中央西 南 部			
2	◎須藤 猛 大田 祐介	○稻葉誠一郎 西本 章	木村 秀樹 塚本 裕三	藤原 平 高木 武志	榎原 則男	東 部 北 部			
3	◎黒瀬 隆志 高田 健司	○法木 昭一 千葉荘太郎	連石 武則 瀬良 和彦	大塚 忠司 村井 明美	中安加代子 徳山 威雄	西 部 神 辺			
4	◎早川 佳行 岡崎 正淳	○宮地 徹三 土屋 知紀	藤田 仁志 五阿彌寛之	今川 享治 神原 孝巳	和田 芳明 川崎 卓志	中央東 西 南			

ふくやま市議会だより編集委員会



※編集委員会の委員長が代わりました。

委 副 委 員
委 員 長

生 今 大 西 村 榊 稲 葉 誠
川 塚 本 井 政 享 忠 明 則 一
川 知 紀 司 章 美 男 郎

6月定例会の一般質問では、各議員は市民の声を届けるために、さまざまな分野で多くの項目について、一問一答方式で議論を交わしました。「議会だより」では紙面の制約上、ごく一部の質問項目の1回目の質問と答弁だけを掲載しています。2回目以降の質問などに対する答弁などは、一般的質問の録画放送では、福山市議会のホームページなどで見ることができます。一度ご覧いただければ幸いです。(今川享治)

編
集
後
記

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

印刷／福山エビス印刷(株) ☎084-954-2200

【ホームページアドレス】<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

